

2010年の新たな取組みに向けて 〜GCR@SEAN認定講座の開催〜

大阪府社会起業家ファンド助成事業総括担当 遠矢 家永子

2009年度事業として、大阪府福祉基金社会起業家ファンドの助成を受けることができ、3月のGCR@SEAN認定講座開催に向けて、着々と準備を進めているところですが。

GCRとはGender-Sensitive Child Hu-Rightsの頭文字で、子どもの育ちのなかの人権を保障するためにジェンダーの視点を学ぶSEANのオリジナルプログラムで、受講生には修了認定証を発行します。

これまで毎年「とんがらし」や「Free」のスタッフ養成講座を開催し、人材育成に努めてきました。それと平行して、他団体・他機関の保育スタッフ等の育成のためにジェンダー視点での研修も依頼に応じて請け負ってきました。また、人権教育として、子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために、「男は強く負けない」「女はやさしく従順に」といった

性別役割ではなく、一人ひとりの「こころ」と「からだ」を大切にす人権規範を学ぶ出張授業を実施してきました。その実践を通して、子どもと関わるすべての大人たちが子どもの人権を保障するために、ジェンダーの視点を学ぶことの必要性を強く実感し、取り組むべきこととして確信を強めました。

親になるためのスキルに関するプログラムは、海外から輸入される、あるいは独自で開発され各地で普及されてきています。そのプログラムの一つひとつは意味のある内容であるものの、育ちの中の人権を保障するジェンダー視点の学びが組み入れられているプログラムはあまりありません。

また、少子社会となった今、子育て支援が進められるなかで、保育サポート事業は公的にあるいは民間でも広がりを見せています。そんななか、1997年結成以来

保育等を請け負ってきたサポート部門「とんがらし」も、生き残りをかけて次のステップへ移行していく必要が生じてきています。

「とんがらし」は結成以来、子育て支援ではなく、自立支援と位置づけ会員相互扶助として事業を展開してきました。自立支援とは、依頼者も請負者も相互に自立することをめざすことです。

「とんがらし」のワーカースタッフとして、他者から必要とされるの役に立ち、労働対価を受け取ることによりエンパワーしていくという目的が事業の背景にはあり、どちらか一方だけがもたれかかる関係ではないことを意味し、日々、活動のなかでエンパワーされていくスタッフを見るにつけてそれを実感しています。SEANだからこそできることは、ジェンダーの視点を学ぶうとし実践するワーカースタッフによるサービズです。そのことによって、これまでSEANの存在価値と信頼を確立してきました。そして、他団体や他機関との差別化を図るためにも、スタッフ一人ひとりがSEANに帰属することに誇りを持ち続けられるようなNPOであり続けたいと思います。

幸いにして、今回大阪府福祉基金のファンドをいただけることとなり、SEANの存続をかけて次の一步を踏み出すこととなりました。

3月13日(土)・14日(日)高槻市立総合市民交流センターにて、第1回GCR@SEAN認定講座を開催いたします。2日間(12時間)の受講認定料は12,000円、他と比べれば安めの設定であるといえますし、子どもと関わるみなさんには是非学んでおいていただきたい、目からウロコの研修内容です。一般からの受講者は、希望し会員になればSEANの「とんがらし」「Free」各部門のスタッフになることもできますし、実際に子どもと関わる仕事をされている方や自分の子育てに役立てたいと思う方、どなたでも参加できます。

今後は、他地域での実施や依頼による請負講座としても展開していく予定です。

GCR@SEAN認定講座についてのパンフレット等案内をご入用の方は、事務局までお問合せください。また、3月の講座受講申込みもお待ちしております。

お問合せは事務局まで。